

## 持続可能な地域づくりの人材養成をめざす「志の森」大学の取り組み

2003年10月13日

特定非営利活動法人 NPO 政策研究所

木原勝彬

### ■ なぜ、「志の森」大学を開校するのか

#### ● 地域社会の疲弊

- ・ 完全失業者数は333万人、失業率5.1%（厚生労働省2003年9月15日発表）。
- ・ 自殺者は、32,143人（2002年度中）で、その約35%が60歳以上、自殺原因では、健康問題が約40%、経済・生活苦約35%（警察庁2003年7月発表）。
- ・ 青少年非行・犯罪の増加。
- ・ 複合的、専門的、予測不可能な問題の多発等。

#### ● 地域力の脆弱性

- ・ 地域住民が、地域の問題や課題を共有し、その解決に向けて対話・協議し、解決策を導き出す「討議（熟議）のデモクラシー力」が未成熟。
- ・ 地域住民が、対話・協議し、導き出した解決策をもとに、自らが問題解決の実践行動をおこなうという、地域の問題・課題の解決力としての「住民自治力」が脆弱。
- ・ 地域の人材、地域の歴史的、文化的資源などの地域資産を活用する「地域潜在能力の開発力」強化の必要性。

#### ● NPOの限界

- ・ 共通のテーマに関心をもつ個人のネットワーク組織であるために、限定された地域への関心が薄い。
- ・ 単一テーマ対応型の活動であるために、地域を総合的に把握し、対応する視点が欠如。
- ・ 自治会など、従来からの地域組織との連携・協働に関心が薄い。
- ・ NPO支援センターは、NPO活動の基盤強化を目的としており、地域力を強化する地域対応型・支援型にはなりえていない。

● 行政の限界

- ・ 地域ニーズの把握、あるいは問題解決力の限界など、政策決定・政策実施・政策評価という一連の政策形成力の脆弱化。
- ・ 税収の減少、公債発行による借金の増大による財政危機。
- ・ 地域力を高める地域対応型・支援型ではない縦割り組織。

● 地方議会・議員の限界

- ・ 市民ニーズの把握や、地域の問題・課題の把握力の限界による市民代表性の形骸化。
- ・ 政策立案力（立法力）の限界。
- ・ 政策評価力、行政監視力の限界。

● 専門家の限界

- ・ 地域に根ざし、持続的に地域を支援し、地域力をエンパワメントする、大学における地域対応型・支援型システムの未整備。
- ・ 地域に根ざし、持続的に地域を支援し、地域力をエンパワメントする、生活を保障された地域再生のための専門的職能人材の欠如

■ 「志の森」大学で養成する人材は、どのような社会の担い手か

● 持続可能な社会の担い手

- ・ 大量生産・大量消費・大量廃棄という市場経済優先主義から、環境・経済・社会という三つの要素の相互依存性に配慮した社会経済運営システムの確立。
- ・ 自然生態系に配慮し、地球に負荷を与えない健全な環境のもとで、働き続けられ、かつ安心・安全・安定した豊かな暮らしを、世代を越えて連綿と実現し続けることができる身近な暮らしの場としての持続可能な地域（サステイナブル・コミュニティ）づくりの推進。

● 分権社会の担い手

- ・ 地域の固有性の確立。
- ・ 地域の自己決定力・自己責任力の強化。
- ・ 住民自治の確立。
- ・ 多様な関係主体が協働関係を構築しながら地域の問題解決をめざすローカル・ガバナンス（地域協治）の確立。

- 民主主義社会の担い手
  - ・ 市民による対話や討議の公共空間である市民社会の成熟化。
  - ・ 代表制民主主義の活性化。

#### ■ 「志の森」大学が養成する人材像

- 社会変革の担い手。
- 哲学・理念を持った実務家。
- 異質なものの融合、あるいは多様な関係性の構築などにより、新たなエネルギー・価値・効果などを創出させる専門能力を持った人材。
- 関係主体の潜在能力を引き出し、人々をエンパワーメントするファシリテーター役。
  
- 行政セクター・営利セクター・非営利セクターのそれぞれの枠組みを超えてセクターを媒介する人材。
- 地域で行政・企業をつなぐ、あるいは地域で活動する多種・多様なNPOと自治会などの地縁組織をつなぐ人材。
- 生活者の視点、地域再生の視点から、住民の英知や地域内外の専門知を結集して地域の問題・課題の解決をめざすコミュニティ・シンクタンクを担う人材。  
\*コミュニティ・シンクタンクとは、生活者、及びコミュニティ再生の視点から、住民の英知や地域内外の専門知を結集して地域の問題・課題の解決をめざそうとする、コミュニティの現場からの市民の政策形成力の強化を目指すボトムアップ型政策形成シンクタンクである。また、地域の固有性を尊重するとともに、地域資源の再評価、および地域の潜在能力の開発などを通じて地域自治力の強化をめざすシンクタンクでもある。

#### ■ 「志の森」大学のコース

- 社会変革コース
  - ・ 主としてNPOリーダー、地域づくりリーダー、地縁組織リーダーなどを対象。
  - ・ 市民社会の理論を踏まえながら、社会構想力、政策提案力、協働力の体得など、社会変革のリーダーとしての資質と実務能力の体得をめざす。
  
- 自治体変革コース
  - ・ 主として自治体職員を対象。
  - ・ ガバナンス時代におけるNPOなどとの協働による政策形成力の強化と行政システムの改革など、これからの自治体職員としての資質と実務能力の体得をめざす。

- 議会活性化コース
  - ・ 主として地方議員を対象。
  - ・ NPO などの多様な政策アクターとの協働によるガバナンスシステムの構築、住民自治の確立など、これからの自治体像に対応するための政策立案力、政策評価力、行政監査力などの強化をめざす。
  
- 企業コース（検討中）
  
- 地域再生プロモーターコース
  - ・ 社会変革コース、協働型地域づくりコース、議会活性化コースの上級編。
  - ・ NPO リーダー、地縁組織リーダー、自治体職員、企業実務者、地方議員などを対象。
  - ・ 社会変革、自治体変革、議会の活性化に関わる理念や実務能力の体得とともに、持続可能な地域づくりの推進・支援力、地域マネジメント力などを総合的に体得した専門的職能人を養成する。